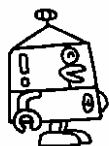


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /
人と動物のたんじょう / 理解シート

赤ちゃんがオギャーとないて生まれてくるのは、なぜなの



お母さんの体内から出て、空気をすったりはいたりする
呼吸こきゅうを始めた合図が、オギャーというなき声なのさ。

赤ちゃんは、お母さんの体内では、肺はいで呼吸をしていない

ふつう、息をすったりはいたりして呼吸するのは、体内に必要な酸素さんそをすいこみ、体内にできない二酸化炭素にさんかたんそをはき出すためです。

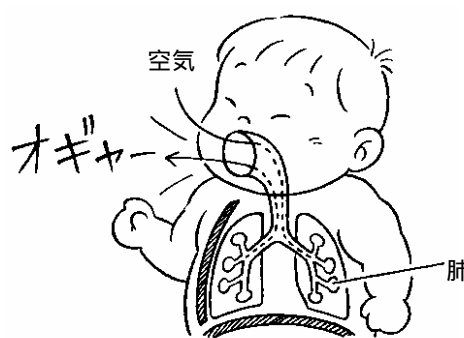
赤ちゃんは、お母さんの体内では、羊水ようすいという水の中にうかんでいて、呼吸はしていません。赤ちゃんは、お母さんのたいばんを通して、へそのおから必要な栄養えいよう分や酸素をもらい、赤ちゃんの体内にできない二酸化炭素などをわたしています。たいばんにきているお母さんの血液が、赤ちゃんに酸素を送り、いらなくなったものを受け取って、赤ちゃんのかわりにしよりをしているのです。

生まれ出て、初めてはいた息がオギャーというなき声になる

赤ちゃんは、体内でときどき、羊水をすいこんだりはき出したりしています。まるで息をすう練習をしているようです。

お母さんの体から空気中に出てきた赤ちゃんは、すぐ肺いっぱい空気くわいをすいこみ、それを元気よくはき出したとき、オギャーというなき声を出します。これをうぶ声といい、空気中で呼吸をして生きていくことができるようになった合図なのです。

オギャーというなき声は、元気な赤ちゃんが生まれたしょうこにもなるのです。



オギャーの声は、元気な赤ちゃんのしょうこ

もっと知りたい人へ：「赤ちゃんは、おなかの中で呼吸をしているの」も見てみよう。